



「ありがとう」って言葉を伝えたい

職員合唱『ありがとう』の歌詞は、すばらしい合唱を聞かせてくれた生徒たちに伝えたい言葉でした。

これまで、合唱コンクールは音響設備のよいマリソウウェアで行われていましたが、今回は新体育館の完成記念も兼ねて実施したため、歌声が響くかなという一抹の不安がありました。

しかし、その不安は杞憂でした。（「杞憂」とは、する必要のない心配。取り越し苦労）。1年生は、初めての合唱コンクールという緊張感や上級生に比べて学級の人数が少ないという不利な条件を、元気さや一生懸命さでカバーしてくれました。2年生は、1年生にプラスして、男子の安定した歌声、女子の透き通った歌声が美しいハーモニーを奏でてくれました。3年生は、1・2年生にプラスして、豊かな表現力が加わり、平和や環境などに関するメッセージがストレートに伝わってきました。難しい曲に挑戦しただけに、完成された“うまさ”を感じました。1・2年生にとっては、3年生の“すごさ”を感じたことでしょう。

1年生より2年生がうまい、2年生より3年生がうまい。当たり前のことですが、この当たり前のことがごく自然にできる学校はすばらしいと思います。また、すべての学年で、「あそこのクラスはイマイチだったなあ」というクラスがなかったことも、学校全体で盛り上がっていた証拠です。

外部審査員の佐藤先生からは、「1年生は微笑ましく見せていただきました。2・3年生は楽しんで聞かせていただきました。特に、難しい歌に挑戦していた3年生は、昨年度からの成長の跡が見られました」、藤田先生からは、「どの学級も、自分たちの学級に合ったいい曲を選択しており、甲乙つけがたい出来でした」というコメントをいただきました。また、すべてのクラスをご指導いただいた音楽科の南先生からも、「本番にいい合唱ができてよかったです。特に、3年生は3クラスともすばらしく、点数をつけることができませんでした」との講評をいただきました。

審査結果は下のようになりましたが、これは審査員がつけた点数です。きっとどのクラスも「自分たちのクラスが金賞だ！」と胸を張って言えるはず。自分のクラスに対する自信、友達に対する信頼・・・、これこそが本当の「金賞」に値するすばらしいものです。結果発表で湧き上がった歓声や笑顔、その一方で流したくやし涙こそが、体育館のステージという“輝ける場所”へ全力疾走してきた証なのです。

また、保護者からも、「体育祭も感動したが、今日もとてもよかった。来年も楽しみにしています」「歌もよかったが、生徒たちのステージ上での態度がすばらしかった。学級紹介の時に全員がピシッと前を向いている姿から、一体感を感じました」などの言葉をいただきとてもうれしくなりました。改めて、生徒たち、そして、ご指導いただいた先生方、ご協力いただいた保護者の皆様にお礼を言います。「ありがとう」。

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1年団…金賞：4組、銀賞：2組 | 最優秀指揮者賞；尾崎 文音（2組）、最優秀伴奏者賞；尾崎 未奈（1組） |
| 2年団…金賞：3組 | 最優秀指揮者賞；関子 涼華（1組）、最優秀伴奏者賞；田尾 皆佳（2組） |
| 3年団…金賞：3組 | 最優秀指揮者賞；安藤早緒理（2組）、最優秀伴奏者賞；上村 美加（2組） |



3年生全員合唱 『YELL』『旅立ちの時』